

水防法の改正の概要<平成27年5月13日成立、5月20日公布>

背景

近年、現在の堤防等の施設計画を超える浸水被害が多発

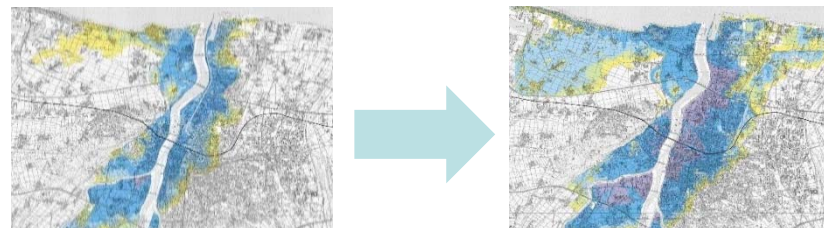


H26.8避難所2階の浸水 (徳島県) H25.8梅田駅周辺の浸水 (大阪市)

改正の概要

○ 現行の洪水に係る浸水想定区域について、
想定し得る最大規模の洪水に係る区域に拡充して公表

(現行は、河川整備において基本となる降雨を前提とした区域)



河川整備において基本となる降雨を前提

想定し得る最大規模の洪水に係る浸水想定区域

<改訂により公表する情報>

| | 改訂前 | 改訂後 | 備考 |
|--------------|--------|-------------|-------------|
| 浸水想定区域図 | 計画規模降雨 | 想定最大規模降雨 | 計画規模降雨(省令) |
| 浸水継続時間 | | 想定最大規模降雨 | |
| ハザードマップ | 計画規模降雨 | 想定最大規模降雨 | |
| 参考(その1) | | | 河岸浸食による家屋倒壊 |
| 参考(その2) | | | 氾濫流による家屋倒壊 |
| 河川管理者公表: 赤文字 | | 市町村公表 : 青文字 | |

水害対応の考え方(想定し得る最大規模降雨への対応)

これまで 堤防等を設計する規模の降雨しか想定していない

現況の堤防等の能力の規模

堤防等設計の計画の規模

江の川流域で100年に1回
程度降る大雨を対象

大雨等の規模

命と財産を守るための
施設整備

今後 想定し得る最大規模の降雨で、命を守ることをための検討を実施！！

現況の堤防等の能力の規模

堤防等設計の計画の規模

想定し得る最大規模

江の川流域で100年に1回
程度降る大雨を対象

過去に山陰地区で降った
最大の大雨

大雨等の規模

命と財産を守るための
施設整備

命を守ることを最重要課題と
して取り組む

命を守ること(避難行動)を優先とするため、
被害が最大となるよう、計算条件を設定

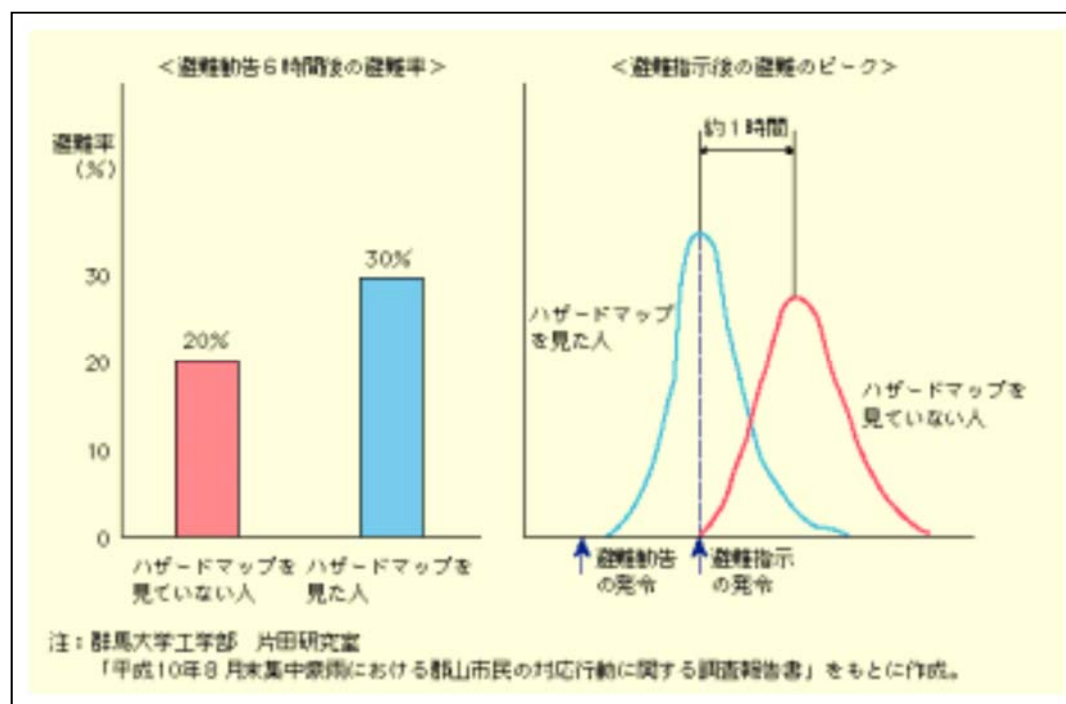
・ハード整備は時間がかかり、今後起こりうる災害への早期対応が困難

浸水想定区域図・ハザードマップの効果

●洪水ハザードマップの有効性

- ・1998年に日本の東北地方を流れる阿武隈川で発生した洪水
- ・郡山市

- 1)住民の多くは、洪水ハザードマップに示される避難場所を確認して避難を行った。
- 2)洪水ハザードマップを見た人の避難者は、見なかった人に比べて約1.5倍多かった。
- 3)洪水ハザードマップを見た人は、避難の開始時間が約1時間早かった。



1998年8月 郡山市の洪水

ハザードマップを活用することで、避難行動が早くなり、命を守ることにつながる。